

## 「上越市地産地消推進の店」ロゴマークが決定

■問合せ…農政課 (☎025-520-5747)

＼選ばれたデザインはこれ／



応募いただいた57作品のうち、一次選考を通過した5作品を対象に、10～11月にかけて行った一般投票では、1,162票の投票をいただきました。集計の結果、ロゴマークは最多の596票を獲得した上原悠雅さんの作品に決定しました。多くの皆さんから投票いただき、ありがとうございました。

ロゴマークは令和6年度から「上越市地産地消推進の店」の新たなシンボルとして、認定店のホームページや、店頭の販売促進資材などに掲載し、活用していきます。



上越市地産地消推進の店ガイド

### 作者コメント

ロゴマークのシルエットはどんぶりをイメージし、上越市の食材をお腹いっぱい楽しむ意味を込めました。

自分のデザインしたロゴマークが上越市の地産地消の機運を高めるきっかけになれば幸いです。私は沖縄県出身なので、上越市に遊びに行く際はいろいろな上越の食材を楽しみたいと思います。



上原悠雅さん

## 地域おこし協力隊が就任 2/1

中山間地域の活性化に取り組む「地域おこし協力隊」として、関根照美さん（吉川区山直海地区）が着任し、中川市長から辞令交付を受けました。

関根さんは、「農業をやりたいと思い移住を決めた。近所の人にも歓迎してくれていて、環境もとても気に入っている。早く地域に慣れて、地域が盛り上がるような活動をしたい。」と抱負を語りました。関根さんはこれから、地域の担い手として、棚田の維持管理や永田農法による米作りに取り組みます。



## 令和5年度新潟県広報コンクール 「広報上越」が知事賞を受賞

令和5年度(第61回)新潟県広報コンクール(主催:新潟県広報協議会)において、「広報上越」令和5年9月号が広報紙の部(審査対象17点)で、最高賞の「知事賞」を受賞しました。受賞号では、生誕140周年を迎えた上越市出身の日本画家・小林古径をテーマに特集記事を掲載し、審査員からは「地元愛の醸成につながるような特集テーマが良かった」「特集を含め、全体的に内容が濃い」などの評価をいただきました。

今後も、市民の皆さんの暮らしに役立つ広報紙作りに取り組んでいきます。



広報上越

